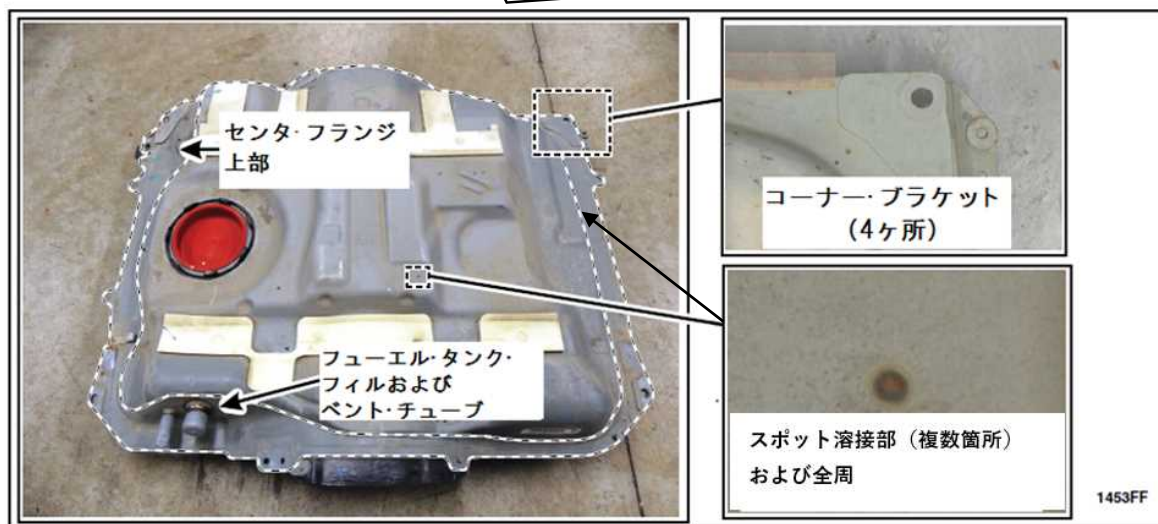


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所



不具合の内容

燃料タンクの防錆処理が不適切なため、溶接の熱によって下地塗料が剥がれているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料タンクが腐食して燃料が漏れ、最悪の場合、車両火災にいたるおそれがある。

改善の内容

全車両燃料タンクを点検し、錆の発生があれば燃料タンク一式を対策品に交換する。錆の発生が無い場合は、燃料タンクに防錆処理を施す。

識別：運転席ドア・下側ヒンジピンの頭部に黄色いペイントを塗布する。

注：  内は対象部品を示す。